

親子の学び応援講座（川俣町立川俣小学校）

令和7年11月26日（水）川俣町立川俣小学校において、親子の学び応援講座を開催しました。県北教育事務所では、親子が共に学び育ち合う「家庭教育」を支援しています。今回は、SNSなどのインターネットとの適切な付き合い方、様々なトラブルやリスクからの守り方について小学3～6年生の親子で一緒に学ぶことで、共にインターネットの使い方を振り返り、考える機会とするため実施しました。



講師 福島県警察本部少年女性安全対策課
県北少年サポートセンター
専門少年警察補導員 小泉 理恵 氏

SNS をきっかけとして被害にあった児童（18歳未満）は全国で1486人(R6)！

被害児童のうち9割がフィルタリング
を利用していなかった



全国の小学生の被害は10年前と比べて4倍に増加！！

小学生の被害者のうち、オンラインゲームがきっかけとなったのは、98人（約70パーセント）

①判断力



公開されている情報は正しいかウソか、安全か危険か、使ってよいか悪いかを見分けることが大切です。

②自制心



ネットは公共の場です。書き込んだことはみんなが見ています。書き込む前に立ち止まって考えるようにしましょう。

インターネット利用 4つの力

③責任力

ネットは自己責任が原則です。責任がとれないことはやってはいけません。



④想像力

インターネットは激しく変化しており、想像を超えたことが起こります。起こりうるトラブルを、想像力、予測力で回避しましょう。



【感想】

- フィルタリングって大切なんだなと思いました。これからちゃんとルールなどを守りたいと思います。（小学生）
- 最近子どもがオンラインゲームを始めたので、しっかりフィルタリングやペアレンタルコントロールを勉強し、設定して子どもを守りたいと思いました。（保護者）

警察庁
Web サイト



文部科学省
YouTube サイト



こども家庭庁
Web サイト



皆さんの家庭では「フィルタリング」や「ペアレンタルコントロール（家族等による管理機能）」を活用していますか？家族等で決めたルールは守れていますか？親子で SNS などのインターネットの使い方を振り返り、ルールが守れていなかった場合は改めてルールについて話し合ってみましょう。

子どもたちが犯罪の被害者にも加害者にもならないためには、私たち大人も日々知識をアップデートしていく必要があります。

また、普段からコミュニケーションを大切にし、子どもたちが少しでも不安を感じたら、すぐに家族等周りの大人に相談できる関係を築くことが大切です。

家庭教育に関するお問い合わせは
県北教育事務所 総務社会教育課 伊藤まで
電話 024-521-2814
E-mail itou_emi_02@pref.fukushima.lg.jp